

今治で職場体験学習を開催

7月7日（水）、今治海上保安部は今治市内にある北郷中学校、近見中学校及び日吉中学校の生徒に対し、働くことの意義や尊さを理解させるとともに海上保安庁の仕事を広く知ってもらおうと職場体験学習を開催しました。

当日、参加した3校の生徒は総勢14名で、まず保安部庁舎で海上保安庁の仕事などについて詳しく説明を受けたあと巡視艇専用棧橋に移動し、巡視艇「せとぎり」の乗組員が行う火災現場で使用するライフゼム（空気呼吸器）の装着訓練を見学したり、ロープの結び方、海図やレーダーの見方などを熱心に学びました。

今治市は海事都市と掲げるだけのこともあって海運や造船など海事関連企業が多く、参加した生徒達の中には「将来、海事関係の職に就きたい」と夢をもつ者も多く、当日の体験学習は有意義な一日になったものと思われま



【海の安全に関する講義のひとつ】



【ライフゼム（空気呼吸器）装着訓練】

○参加した生徒の感想文を紹介します。

ぼくは、今治海上保安部で職場体験をさせていただきました。
灯台の部品を見せてもらったり、船の見学、ロープワーク、ビデオによる海上保安部の仕事などの研修でした。

灯台の部品は一つ一つが細かいのに、とても高価なことに驚きました。船は、乗ってみると大きくて、中に入るといろいろな設備がありました。海の安全を守るためには、船の設備も色々な危険を想定したものでなくてはいけないということが、よくわかりました。また、ロープは、同じように見えても、使う場所によって結び方が違うことを知りました。はじめは全然結べなかったのに、丁寧に教えてもらって、もやい結びやまき結びができるようになった時はうれしかったです。

海上保安部の人たちは、複雑な機械を使いこなさないといけないし、人命救助や外国船とのトラブルでは命がけのこともあって、大変だと思います。だから、毎日、研修や訓練をしていて、動きがてきぱきして声がかいんだということがわかりました。

日本の海の安全が、こうした人たちによって守られていることに感謝するとともに、今日、教えてもらったことを生活の中で少しずつでも生かしていけるようにがんばりたいです。

今治市立近見中学校
2年1組 高橋 拓馬 君